

教室長インタビュー 完全版

下関教室
廣瀬教室長



下関教室の特徴を 教えてください。

一つ目は、生徒と先生の距離がいい意味で近く、しっかりコミュニケーションが取れているところだと思います。もちろん、厳しくするときは厳しくして、叱ることもありますが、休み時間になると事務室の周りに子供達が集まって、いろんな話を聞かせてくれるのが嬉しいです。保護者の方ともエルメモをうまく使いながらしっかり連携が取れているので、生徒・保護者・全教研が一つの船に乗って目標に向けて進めていけていると思います。

二つ目は、先生たちにも成長をしてほしいと言うことを伝えていっていることです。子どもたちに、成績面で成長するように指導していくのですから、先生たちも一緒にレベルアップしていこうよと。生徒に言うだけじゃなくて、共に成長し、いい影響を与えられるような関係性になりたい

と思っています。

先ほど、生徒、保護者とのコミュニケーションがうまくいっているとお話しましたが、先生同士の連携もしっかり取れていると思います。最近では、自分がいない間の報告を聞くと、しっかりとやってくれているので嬉しくなることが多いです。教室長がいなくてもできることと思ってもらえるのが理想です。先生同士がいい関係だというのは、生徒たちからも見ていたらわかるものだと思いますし、そのいい関係性の中に入っていきたい！と輪が広がっていいって、教室全体の活気につながっているような気がします。

募集の状況について

近年の社会情勢の影響もあって、校門配布は効果を感じにくくなってきました。昨年度は入会の70%以上が内部生からの紹介と有難い状況です。保護者・生徒共

に密に関係性ができている結果だと思おうので、今後も内部満足度を上げられるようにしていきたいと思っています。

新規の方に向けては、HPの教室ページにタイムリーな話題を掲載するようにしています。閲覧数も定期的に確認しています。以前調べた時は、水曜日が閲覧数が多かったのですが、今は火曜日に更新するようにしています。本当は、うちの先生たちの顔も見てもらいたいから写真をたくさん載せたかったし、文章も独自性を持ったものに変更したいです。HPにこだわっていきたくて思っています。この件は、広告宣伝Gに要相談ですね(笑)

また、保護者からは5教科別の先生が教えてくれるのがありがたいという言葉をもらいます。強力なライバル塾があったとしても、全員がその塾にいくわけ

ではないので、自分の塾の考え方を分析し、明確にして、共感してくれる人に来てもらいたいです。

教室長として

先生たちに伸び伸びと仕事をしたいって思っています。時にはクレームが発生してしまうこともあるかもしれないですが、クレーム処理は、私を含めた先生方と保護者との信頼関係をつくるチャンスだとも思っています。もちろん、クレームにならないに越したことはありませんが、失敗してからわかることもたくさんあると思うので、失敗を恐れずにどんどんチャレンジをしていってほしいです。

全教研最北端で本州に唯一ある教室として、下関教室が頑張ればさらに新たな地域に発展できるかなという楽しみがあります。徐々に生徒が増えてきているので、教室の成功例の一つとしてみてほしいと思います。

今後の目標

全教研は、自由度が他の塾より高いです。自由にやらせてもらえるから、いい緊張感を持って頑張れています。その分責任もついてきますが、塾の仕事が好きなんだと思います。

全教研で退職するまでに、僕の地元の延岡に展開するのが密かな野望です。中津から攻めていけば、難しくなかなって思っています。退職する前に、成し遂げたいですね！



取材オフショット集

